

この世の終わりに

聖書の最後は、迫害の渦中にあるクリスチャンへの慰めと、将来起こる出来事の予告とでしめくられています。教会は、今はこの世の権力のもとで、多くの苦しみを味わわされることでしょう。しかし、やがて神様が世界をまったく新しくし、正義をもって、完全に支配なさる時がくるのです。その時を望み見て、どんな時にも絶望することなく、あくまで信仰を貫き、神様に忠実に生きようと励みしながら、輝かしい未来の約束を与えて、聖書は終わります。

ヨハネの黙示録（ヨハネの見た幻）

紀元一世紀の後半、クリスチャンは激しい迫害を受けていました。ヨハネも、教会の指導者ということで、地中海のパトモスという島に流されました。そこで神様が、これから起こることを幻の中で教えてくださったのです。今は、クリスチャンであるばかりに苦しい目に会わされていても、必ず報われる時が来る、悲しみも苦しみもない新しい世界ができる、と慰めてくださったのです。このことを、すべてのクリスチャンに知らせようと書かれたのが、本書です。

一

1 この書物は、イエス・キリストについて、すぐにも起ころうとする出来事を書いたものです。それらは、今までベールにおおわれていましたが、神様のお許しを得て、キリストが神様の召使ヨハネに、幻によって示したのです。その時、天から遣わされた御使いが、この幻の意味を説き明かしたので、2 ヨハネは、それを一つ残らず書きとめました。すなわち、神様とイエス・キリストのことばと、自分が見聞きした、すべてのことを書きとめたのです。

3 この預言のことばを教会で朗読する人と、それを聞いて、その内容に心をとめる人は、主から特別の祝福をいただきます。この預言が、もうすぐ実現しようとしているからです。

4 ヨハネから、

トルコにある七つの教会の、愛する皆さんへ。

今も昔も存在し、やがて来られる神様から、またその王座の前におられる七つの霊から、5 さらに、私たちにすべての真理を忠実に示してくださる、イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたに注がれますように。 このイエス・キリストは、死人の中から最初に復活された方であり、二度と死ぬことのない方です。 この方は、地上のどの王よりもはるかに偉大で、私たちに変わらぬ愛を注ぎ、罪から解放するために、自分の血を流してくださいました。 6 この方は私たちを、神の国の民として集め、父なる神に仕える祭司としてくださいました。 イエス・キリストが永遠にほめたたえられますように。 その支配は永遠に続きますように。 アーメン。

7 見なさい。 この方が、雲に乗っておいでになります。 すべての人の目が、特に、この方を突き刺して殺した者たちの目が、この方に注がれるでしょう。 その時、人々はみな、恐れと悲しみのあまり、激しく泣きます。 うそではありません。 アーメン。 そのとおりになりますように。

8 今も昔も存在し、やがて来られる全能の主なる神が、こう言われます。「わたしは、あらゆることの初めであり、終わりである。」

9 この手紙を書いているのは、あなたがた同様、主のために苦しんでいる、兄弟ヨハネです。 私もまた、イエス様から忍耐することを教えられました。 そして、私たちは、イエス様の国に入る権利をいただいているのです。

ヨハネの見た幻

私は、神様のことばを宣べ伝え、また、イエス・キリストが成し遂げてくださったことを告げ知らせたために、パトモス島に流されているのです。 10 さて、主の日のことでした。 私が礼拝をしていると、突然、うしろから大きな声が聞こえたのです。 まるでラッパの響きのようで、 11 こう語りかけました。「わたしは初めであり、終わりである。これからあなたの目に映ることを、一つ残らず書きとめ、トルコにあるエペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤの七つの教会に、手紙を送りなさい。」

12 いったいだれだろう、とふり向くと、私のうしろに七つの金の燭台がありました。 13 そして、その燭台の真ん中に、一人の人が立っていました。 その方は「人の子」と呼ばれるイエス様のようであり、長い衣をまとい、胸には金の帯を締めていました。 14 その髪は、羊毛か雪のように真っ白で、目は燃える炎のように、鋭く光っていました。 15 足は、みがきあげられた真鍮のように輝き、声は、海岸に押し寄せる大波のとどろきのようでした。 16 この方は、右手に七つの星をつかみ、口には、切れ味のいい両刃の剣をくわえ、顔は、澄みきった青空の太陽のように輝いていました。

17 18 それを見た時、その足もとに倒れて、私は死んだようになりました。 しかし彼は、私に右手を置いて、こう言われたのです。「恐れてはいけない。わたしは初めであり、終わりです。死んでのち復活し、今は永遠に生きる者となり、死と地獄とのかぎを持っていきます。 19 いま見たこと、また引き続き示されることを、書きとめなさい。

20 わたしの右手にある七つの星と、七つの金の燭台の意味を教えましょう。七つの星は七つの教会の指導者たち、七つの燭台は七つの教会を指します。

二

1 エペソにある教会の指導者あてに、次のような手紙を送りなさい。

『各教会を巡り、右手で教会の指導者を支えておられる方が、こう言われます。

2 「わたしは、あなたの多くの良い行ないと、わたしのための労苦と忍耐とを、ずっと見てきました。また、教会内の罪に目をつぶらず、使徒だと自称しながら、実はそうでない者のうそを注意深く調べて、見破った事実を知っています。3 あなたはわたしのために、どんな時にも、じっと耐え、決してくじけませんでした。4 しかし、一つだけ非難すべき点があります。それは、あなたがわたしを、初めのころほど愛していないことです。5 どうしてそうなったのか、胸に手を当てて考え、初めの愛に立ち返って、以前のように励みなさい。さもないと、わたしは行って、あなたの燭台を、諸教会の中から取り除きます。

6 しかし、ほめるところもあります。あなたが、わたしと同じように、ニコライ派の人々のみだらな行ないを、憎んでいることです。

7 聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げを、よく聞きなさい。わたしは勝利を得る人に、神様のパラダイスにある、いのちの木の実を食べさせます。』

8 スミルナにある教会の指導者に、次のような手紙を送りなさい。

『この手紙は、初めであり、終わりであり、死んでのち、復活された方からのものです。

9 「わたしは、あなたが、主のためにどんなにひどい苦しみと貧しさに耐えてきたかを、知っています。〔しかし、実際は天の宝を得ているのです。〕さらに、自分こそユダヤ人〔神様に選ばれた者〕だと主張する人々から、白い眼で見られ、非難されてきたことも知っています。しかし、あの連中は悪魔の仲間であって、真のユダヤ人ではありません。

10 これから先、出会うことになる苦しみを、少しも恐れてはなりません。悪魔は、信仰を試そうとして、まもなく、あなたがたのうちの何人かを、牢獄に投げ込むでしょう。そして、あなたがたは十日間、苦しむことになります。しかし、たとえ死に直面するようなことになっても、最後まで、わたしに忠実でありなさい。そうすれば、いのちの冠〔終わりのない栄光の未来〕をあげましょう。11 聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げを、よく聞きなさい。勝利を得る人は、決して第二の死によって危害を受けません。』

12 ペルガモにある教会の指導者に、次のような手紙を送りなさい。

『この手紙は、切れ味のいい両刃の剣をふるう方からのものです。

13 「わたしは、あなたを取り巻く環境をよく知っています。そこには憎むべき悪魔の王座があり、悪魔礼拝が盛んです。それでも、あなたはいつも、わたしに従順でした。わたしの忠実な証人アンテパスが、悪魔の弟子の手にかかって殉教した時も、あなたは、わたしを捨てませんでした。

14 しかしなお、二、三の非難すべき点があります。教会の中で、バラムの信奉者を、見過ごしにしているではありませんか。バラムは昔バラクに入れ知恵し、イスラエルの民を性的な罪に巻き込み、偶像礼拝に走らせて、滅びに追いやろうとたくらみました。15 あなたの教会にも、そのバラムに従う者が巣くっています。

16 心と態度を改めなさい。さもないと、わたしはすぐにでも行って、口の剣で、彼らと戦うでしょう。

17 聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げを、よく聞きなさい。勝利を得る人は、天から下る秘密のマナを食べることができます。また、めいめいに白い石が与えられます。その石には、本人以外はだれも知らない、新しい名前が刻まれているのです。』

18 テアテラにある教会の指導者に、次のような手紙を送りなさい。

『この手紙は、燃える炎のような目と、真鍮のように輝く足を持つ、神の子からのものです。

19 「わたしは、あなたが貧しい人々に親切にし、物資を援助し、めんどろを見てやったことを知っています。また、あなたの愛と信仰と忍耐とを知っています。そして、これらの点で、たゆまず成長していることも、認めています。

20 しかしなお、非難すべき点があります。あのイゼベルという女を放任してはいませんか。女預言者だと自称しているあの女は、性的な罪など大した罪ではないと、クリスチャンをそそのかしています。しかもそう口にするだけでなく、実際にその罪を犯させ、また、偶像への供え物の肉を食べさせようとしているのです。21 わたしは、その考えと態度を改める機会を与えましたが、あの女は拒みました。22 さあ、今、わたしのことばに耳を傾けなさい。この女を、激痛を伴う病気にします。彼女の不道徳にならう者も全員、罪を悔い改めてわたしのもとへ戻らなければ、同じ目に会います。23 次に、この女の子供たちをも、打ちのめして殺します。こうしてすべての教会は、わたしが、人の心と思いの奥深くまで探ることを知るのです。わたしは一人一人に、それぞれの行ないに応じて報います。

24 テアテラの教会の中で、この誤った教え〔この教えの支持者たちは、これを「深い真理」と呼んでいますが、実際には悪魔の落とし穴です〕に、まだ毒されていない人々については、これ以上、何も問いただすつもりはありません。25 ただ、わたしが行くまで、いま手にしているものを、しっかり握りしめていなさい。

26 勝利を得る者、すなわち、最後までわたしを喜ばせてくれる者に、諸国民を支配する権威を与えます。27 父なる神から支配権をいただいたわたしにならって、あなたは、鉄の杖で人々を治めるのです。彼らは、砕けた陶器のように、粉みじんになるでしょう。

28 また、あなたに明けの明星を与えます。

29 聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げに、耳を傾けなさい。』

三

1 サルデスにある教会の指導者に、次のような手紙を送りなさい。

『この手紙は、神様の七つの霊と七つの星を持つ方からのものです。

「わたしは、あなたが、生き生きした活動的な教会だという評判とは裏腹に、実際には、死んだ状態にあることを知っています。 2だから目を覚まさない。 残された一握りの者たちを力づけなさい。 死の一步手前まで来ている人たちをです。 あなたの今までの行ないは、どう見ても、神様の前に正しくありません。 3最初に聞いたこと、また、信じたことを思い出しなさい。 それをしっかりと守って、もう一度、わたしに心を向けなさい。 さもないと、わたしはどろぼうのように、思いがけない時に、あなたを襲って、罰します。

4しかしなお、サルデスの教会には、この世の汚れに衣を染めていない少数の人々がいます。 その人々は白い衣を着て、わたしと共に歩きます。 その資格があるからです。 5勝利を得る人はみな、白い衣をまといます。 わたしは、その人の名をいのちの書から消し去りはせず、父と御使いの前で、彼らはわたしのものであると、はっきり宣言するでしょう。

6聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げに、耳を傾けなさい。』

7フィラデルフィヤにある教会の指導者に、次のような手紙を送りなさい。

『この手紙は、きよく真実な方、ダビデのかぎを持つ方からのものです。 この方が、そのかぎで開くと、だれも閉じることができず、閉じると、だれも開くことができません。

8「わたしは、あなたをよく知っています。 あなたは、決して強くはありませんが、わたしの教えを守ろうと努力し、わたしの名を否定しませんでした。 それで、あなたの前に、だれも閉じることのできない門を、開いておきました。

9とくと、ごらんなさい。 クリスチャンだと自称しながら〔実は、うそをついているのです〕、悪魔に味方する者を、わたしがどんな目に会わせるかを。 あなたの足もとにひれ伏させ、わたしのあなたに対する愛を、わからせてやります。

10あなたは迫害にもめげず、じっと忍耐して、わたしの教えに従ってきました。 それで、いのちあるすべての人間を試すために、全世界に襲いかかる大きな悩みと試練の時に、わたしもあなたを守ります。 11見なさい。 わたしはすぐに来ます。 いま手にしているわずかなものを、しっかりと握りしめていなさい。 自分の冠をだれにも奪われないためです。

12わたしは、勝利を得る人を、わたしの神様の神殿の柱とします。 そこは安全で、もはや追い出されたりはしません。 わたしはその人に、神様の名を刻みます。 そして、神様の都、すなわち、天の神様のもとから下って来る、新しいエルサレムの市民とします。 こうして、彼は、わたしの新しい名を刻まれるのです。

13聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げに、耳を傾けなさい。』

14ラオデキヤにある教会の指導者に、次のような手紙を送りなさい。

『この手紙は、確固として立つ方、忠実で、過去、現在、未来にわたって存在する万物の、真の証人である方、神様に造られたものの根源である方からのものです。

15「わたしは、あなたをよく知っています。あなたは冷たくもなく熱くありません。むしろ、冷たいか熱いかの、どちらかであってほしいのです。16しかし、なまぬるいだけなので、わたしは口から吐き出します。

17あなたは、『私は金持ちだ。ほしいものは何でも手に入るし、もうこれ以上望むものはない』とうそぶいています。しかし、そんなあなたが、霊的には、この上なくあわれで、みじめで、貧しくて、盲目で、おまけに裸同然であることに、気づいていないのです。

18忠告しておきます。ほんとうの金持ちになるために、火で精錬された純金を、わたしから買いなさい。また、裸の恥をさらさないために、しみ一つない清潔な白い衣を、わたしから買いなさい。また、見えるようになるために、わたしから目薬を買いなさい。

19わたしは愛する者を絶えず訓練し、しかったり、懲らしめたりします。ですから、もし、あなたが今の冷淡さを捨て、神様に対して熱心な態度をとらなければ、当然、わたしの罰を受けることとなります。

20ごらんください。わたしは戸の外で、しきりにたたいています。その呼びかけにこたえて戸を開ける人なら、だれとでも、わたしは中に入って、親しく語り合います。そして、お互いに楽しい時を過ごすのです。21勝利を得る人を、わたしと一しょに王座につかせましょう。ちょうど、わたしが勝利を得た時、父から、王座に共に座ることを許されたように。22聞く耳のある人は、聖霊様の諸教会へのお告げに、耳を傾けなさい。』』

四

開かれた門

1それから、私が見ていると、天にある開かれた門が見えました。すると、聞き覚えのある、あの大きなラッパの響きみたいな声が出て、こう語りかけました。「さあ、ここに上って来なさい。将来、必ず起こることを見せてあげましょう。」

2あつという間にわたしは、聖霊様によって天に引き上げられました。そこで目にしたのは、王座とそこに座っておられる方でしたが、私はその栄光に圧倒されてしまいました。3その方から、ダイヤモンドやルビーのようにきらめく光が、輝きわたっていました。またエメラルドのように光る虹が、王座を取り巻いていました。4王座の周りには二十四の座があり、二十四人の長老が座っていました。全員が白い衣をまとい、金の冠をかぶっていました。5王座からいなくとも雷鳴が鳴りわたり、その中に、声も聞こえました。王座の正面には、神様の七つの霊を意味する七つの明かりが、燃えさかっていました。6その前に、きらきりと水晶のような海が広がり、王座の四方には、前後に目のついている生き物が四つ、立っていました。7第一の生き物はライオンの姿で、第二の生き物は雄牛のように見えました。第三の生き物の顔は人間のようでした。第四の生き物は、大空に翼を広げたわしの姿をしていました。8この四つの生き物は、それぞれ六つの翼を持ち、その翼にも、おびただしい目がついていました。そして、昼も夜も、絶えずこう叫び続けているのです。「聖なる、聖なる、聖なる全能の神、主よ。昔も、

今も存在し、やがて来られる方。」

9 これらの生き物が、王座にぎして永遠に生きておられる方に、栄光と誉れと感謝とをささげた時、10 二十四人の長老はこの方の前にひれ伏して礼拝し、冠を王座の前に投げ出して賛美しました。11 「おお主よ。あなたは栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。すべてのものをお望みどおりに造り、存在させておられるのですから。」

五

小羊と巻物

1 また私は、王座にぎす方の右手に、巻物が握られているのを見ました。その巻物には、表にも裏にも文字があり、七つの封印で閉じてありました。2 一人の力ある神様の御使いが、大きな声で、「この巻物の封印を破り、それを開く資格のある方は、どなたですか」と尋ねていました。3 しかし、天にも地にも死人の中にも、だれ一人、その巻物を開いて読むことのできる者はいませんでした。

4 どこを捜しても、巻物を開くのにふさわしい人が見あたらないので、私は、がっかりして泣き出してしまいました。巻物の内容を、教えてもらえないからです。

5 ところが、二十四人の長老の一人が、慰めてくれたのです。「泣くのはやめなさい。ごらんなさい。ユダ族から出たライオン、ダビデの根である方がおられます。その方が勝利を得て、あの巻物を開き、七つの封印を破る資格を得られたのです。」

6 それから私は、二十四人の長老と王座と四つの生き物との間に、小羊が立っているのを見ました。小羊には、かつて直接の死因となった傷跡がありました。この方は、七つの角と七つの目を持っていました。その目は、全世界に遣わされる神様の七つの霊です。

7 小羊は前に進み出て、王座にぎす方の右手から、巻物を受け取りました。8 その時、四つの生き物と二十四人の長老は、小羊の前にひれ伏したのです。彼らはそれぞれ、ハーブと香のたちこめる金の鉢とを手にしていました。この香は、神様の民の祈りを意味します。

9 彼らは新しい歌を、高らかに歌っていました。「あなたこそ、巻物を受け取って封印を破り、それを開くのにふさわしい方。あなたは殺されましたが、その血によって、あらゆる民族の中から、神様のために、人々を買い取ってくださいました。10 そして、その人々を神の国に集め、神様の祭司、地上の支配者とされました。」

11 それからまた、私は幻によって、王座と生き物と長老たちとの回りで歌う、幾千万もの御使いの声を聞きました。12 彼らは大声で、「小羊こそ、ふさわしい方。殺された小羊こそ、力と、富と、知恵と、強さと、誉れと、栄光と、祝福とを受けるにふさわしい方」と歌っていました。

13 それからまた、私は、天地のすべての者、地下や海中に眠る死者全員の叫び声を聞きました。「祝福と誉れと栄光と力とが、王座にぎす方と小羊とに、永遠にありますように。」14 すると、四つの生き物は「アーメン」と言い、二十四人の長老はひれ伏して礼拝しました。

六

馬の幻

1 さらに見ていると、小羊は第一の封印を破って、巻物を開き始めました。すると、四つの生き物の一つが、雷のようにとどろく声で「来なさい」と呼びました。

2 目をこらしていると、一頭の白い馬が現われました。馬上の人は、弓を持ち、冠をかぶっていました。そして、次々と勝利を収めながら、なお勝利を求めて、出て行きました。

3 それから、小羊は第二の封印を破り、巻物を開きました。すると、第二の生き物が「来なさい」と呼ぶのが聞こえました。

4 次に現われたのは、赤い馬です。その馬上の人には、長い剣と、平和を奪って地上に混乱を招く権威が与えられました。こうして、戦争と殺害が各地で勃発しました。

5 小羊が第三の封印を破った時、第三の生き物が「来なさい」と呼ぶのを聞きました。すると、黒い馬が現われました。その馬にまたがる人は、秤を手にしていました。6すると、四つの生き物の間から、こんな声が聞こえました。「パン一個も、大麦一キロも六千円。オリーブ油もぶどう酒もない。」

7 第四の封印が破られた時、第四の生き物が「来なさい」と呼ぶのを聞きました。8今度は、青ざめた馬が姿を現わしました。その馬にまたがる人の名は死でした。そのあとに、地獄という名の人の乗っている馬が続きました。彼らには、戦争とききんと伝染病と獣とによって、地上の人々の四分の一を殺す権威が与えられました。

9 小羊が第五の封印を破った時、私は祭壇を見ました。そしてその祭壇の下に、神様のことばを伝え、自分たちの証言に忠実であったために殉教した人全員の、たましいが見えました。10彼らは大声で、主に、こう叫んでいました。「おお、きよく、真実で、絶対者なる主よ。地上の人々のひどい仕打ちを、さばいては、くださらないのですか。いったいいつ、私たちの血の復讐をしてくさるのですか。」11すると、その一人一人に白い衣が与えられ、こう言い渡されました。「もうしばらく休むがよい。まだ、お前たち同様、殉教する者が、イエスに仕える同胞の中から出るからだ。」

12 小羊が第六の封印を破るのを見ていると、突然、大地震が起こりました。太陽は黒布でおおわれたように暗くなり、月は血のように赤く変わりました。13そして、星が地上に落ちたのです。まるで、いちじくの青い実が、大風にバラバラと振り落とされるようでした。14星をちりばめていた天は、巻物が巻き取られるように消え去り、すべての山や島は、激しい揺れのために、あちこちへその場所を変えました。15地上の王、指導者、金持ち、将軍、身分の高い人も低い人も、奴隷も自由人も、人々はこぞって、ほら穴や山の岩陰に身を隠し、16山々に向かって、大声で叫びました。「私たちの上に倒れかかれ！ 王座にざしておられる方の顔から、小羊の怒りから、私たちを隠してくれ。17神様と小羊の怒りの日がついに来たのだ。だれがそれに耐えられよう。」

七

神様に選ばれた人

1 それから私は、四人の御使いが地の四すみに立っているのを見ました。 彼らは、四方からの風をしっかりと押さえていたので、木の葉一枚そよがず、海面は鏡のようになめらかなになりました。 2次に、もう一人の御使いが、生ける神の大きな印を持って、東から来るのが見えました。 彼は、地と海とを破壊する権限を与えられた四人の御使いに、大声でこう叫びました。 3「お待ちなさい。 私たちが、神様に仕える人々の額に神様のしるしをつけ終わるまでは、手出しをしてはなりません。 地にも海にも木にも、害を加えてはいけません。」

4 - 8 それから私が、「いったい、何人の人に、神様のしるしはつけられたのでしょうか」と尋ねると、「十四万四千人」という答えが返ってきました。 その人々は、イスラエルの全十二部族から選ばれていました。 内訳は次のとおりです。

ユダの部族一万二千人

ルベンの部族一万二千人

ガドの部族一万二千人

アセルの部族一万二千人

ナフタリの部族一万二千人

マナセの部族一万二千人

シメオンの部族一万二千人

レビの部族一万二千人

イッサカルの部族一万二千人

ゼブルンの部族一万二千人

ヨセフの部族一万二千人

ベニヤミンの部族一万二千人

9その後、私の目には、おびたしい群衆が映りました。 あらゆる国民、民族、言語の人々で、とても数えきれたものではありません。 彼らは白い衣をまとい、しゅろの枝を手にして、王座と小羊との前に立っていました。 10そして、声を張り上げ、「救いは、王座にぎしておられる神様と、小羊とから来ます」と叫んでいました。

11御使いはみな、王座と長老、それに四つの生き物の回りに集まり、ひれ伏して神様を礼拝してから、 12こう言いました。「アーメン。 祝福と、栄光と、知恵と、感謝と、誉れと、力と、勢いとが、永遠に神様にありますように。 アーメン。」

13その時、二十四人の長老の一人が、私に尋ねました。 「この白い衣の人たちがだれだか、わかりますか。 どこから来たか知っていますか。」

14「わかりません。 どうか教えてください」と答えると、こんな答えが返ってきました。 「あの人たちは、激しい迫害をくぐり抜け、小羊の血でその衣を洗って、白くした人たちです。 15だから、こうして神様の王座の前において、昼も夜も、神殿で奉仕しているのです。 そして、王座にぎしておられる方によって、安全にかくまわれています。」

16 もう二度と飢えることがなく、また渴くこともありません。 彼らは灼熱の太陽からも、完全に守られているのです。 17 それは、王座の正面に立たれる小羊が、羊飼いとして彼らを養い、いのちの水の泉に導いてくださるからです。 また神様は、彼らの目から、あふれる涙を、すっかり、ぬぐい取ってくださるのです。」

八

1 小羊が第七の封印を破った時、天に、およそ半時間ほどの静けさがありました。 2 それから私は、神様の前に立つ七人の御使いを見ました。 その御使いに七つのラッパが与えられました。

襲いかかる災い

3 すると、金の香炉を手にした、もう一人の御使いが現われて、祭壇のそばに立ちました。 彼に多量の香が与えられましたが、それは、クリスチャンの祈りと共に、王座の前にある金の祭壇にささげるためのものでした。 4 香のかおりは、クリスチャンの祈りと混じり合って、祭壇から、神様の前に立ちのぼりました。

5 それから御使いは、その香炉に、祭壇から取った火をいっぱい盛って、それを地に投げつけました。 そのとたん、雷鳴がとどろき、いなずまが走り、激しい地震が起こったのです。

6 すぐさま、七つのラッパを手にした七人の御使いが、ラッパを口に当てました。

7 第一の御使いがラッパを吹き鳴らしました。 すると、血の混じった雹と火が、すごい勢いで地上に突き刺さりました。 そのため、地上の三分の一が火に包まれ、木の三分の一と、青草がすべて灰になりました。

8 9 第二の御使いがラッパを吹き鳴らしました。 すると、炎に包まれた巨大な山のようなものが、海に投げ込まれました。 そのため、船の三分の一が破壊され、また、海の三分の一が血のように赤く染まって、魚の三分の一が死にました。

10 第三の御使いがラッパを吹き鳴らしました。 すると、燃えさかるたいまつのような大きな星が、天から落ちて来て、川と泉の三分の一に、ばらまかれました。 11 この星は「苦よもぎ」と呼ばれました。 川の水の三分の一が苦よもぎのように苦くなり、その水を飲んだ人が大ぜい死んだからです。

12 第四の御使いがラッパを吹き鳴らしました。 するとたちまち、太陽の三分の一と、月の三分の一と、星の三分の一が、打たれて暗くなりました。 そのため、昼間は三分の二の明るさしかなく、夜もいっそう暗くなりました。 13 また見ていると、一羽のわしが大空高く舞いながら、鋭い叫び声をあげていました。「ああ、災いが来る。 災いが地上の人々に襲いかかる。 あと三人の御使いがラッパを吹き鳴らせば、恐るべきことが起こるのだ。」

九

底なしの穴

1 第五の御使いがラッパを吹き鳴らしました。 すると、私は、天から地上に落ちて来る、

一人の人を見ました。その人には、底なしの穴を開くかぎが与えられていました。2 彼が底なしの穴を開くと、大きな炉から立ちのぼるような煙が、吹き上げました。そのため、太陽も空も、黒ずんでしまいました。

3すると、煙の中からいなごが飛び出し、地上を駆け巡りました。そのいなごには、さそりのように人を刺す力が与えられていました。4いなごは、草や木には見向きもしないで、ただ、額に神様のしるしのない人々にだけ害を加えよと、命令されていたのです。

5しかし、人間を殺すことは禁じられ、ただ、さそりに刺されたと同じ、激しい痛みで苦しめることが、五か月間だけ許されていました。6その間、人々は苦しきのあまり自殺をはかりますが、どうしても死にきれません。どんなに死にたいと願っても、死は逃げて行くのです。

7このいなごは、まるで、戦闘の構えが整った馬のような姿をしていました。頭には金の冠をかぶり、顔は人間そっくりでした。8毛は女の髪のように長く、鋭いライオンのような歯をむき出していました。9また、鉄製の胸当てのようなものを着け、その羽音は、戦場になだれ込む戦車隊の響きを思わせました。10また、さそりのように鋭く刺す尾には、五か月のあいだ人々を激痛で苦しめる力がありました。11彼らの王は、底なしの穴の支配者で、その名をヘブル語でアバドン(破壊)、ギリシヤ語でアポリュオン(破壊者)と呼ばれていました。

12第一の災いは過ぎ去りました。しかし、あと二つの災いが待っているのです。

四人の悪霊

13第六の御使いがラッパを吹き鳴らしました。すると、神様の王座の前にある金の祭壇の四すみから、声が響いてきました。14その声が、第六の御使いに命じました。「大ユーフラテス川のほとりにつながれている、四人の強い悪霊を解き放ちなさい。」15この悪霊は、定められた年、月、日、時が来るまで、つながれていたのです。そして今や、人類の三分の一を殺すため、解き放たれたのです。16彼らは、総勢二億もの大軍団を率いていました。私はその数を聞きました。

1718私は幻の中で、彼らが馬に乗って出て来る有様を見ました。兵士たちの胸当ては、火のような赤色や、空色や、黄色でした。馬の頭は、ライオンの頭そっくりで、その口から吐き出される煙と火と燃える硫黄とで、人類の三分の一は殺されてしまいました。

19人間を殺す武器は、その口だけでなく、尾にもありました。尾は蛇の頭に似ており、それで打たれると、人間は致命傷を負うのです。

20しかし、これらの災害にも生き残った人々は、それでもなお、神様を礼拝しようとはしませんでした。相変わらず悪霊礼拝を続け、金、銀、銅、石、木で作られた偶像を捨てませんでした。これらの偶像は、見ることも、聞くことも、歩くこともできないものです。21また彼らは、殺人、魔術、不道徳、盗みに対する考えと態度を、改めようとはしませんでした。

秘密の計画

1 それから、もう一人の強い御使いが、雲に包まれ、天から下って来ました。その頭上には虹がかかり、顔は太陽のように輝き、足は火のように光っていました。2 彼は開かれた小さな巻物を持っていました。そして、右足を海上に、左足を陸上に置き、3 大声で叫びました。それはライオンのほえる声そっくりでした。すると、答えるかのよう、七つの雷が私の耳をつんざいたのです。

4 私は、雷のことばを書きとめようとしたのですが、天からの声に、押しとどめられました。「書きとめてはいけない。公表すべきものではないのだから。」

5 それから、海と陸地にまたがる強い御使いは、右手を高く天にさしのべ、6 天とその中のすべてのもの、地とそれに満ちるすべてのもの、海とその中に住むすべてのものを造られた、永遠に生きておられる神様を指して誓いました。「もうこれ以上、延期されません。7 いよいよ、第七の御使いがラッパを吹き鳴らす時、神様に仕える預言者に告げ知らせてからこのかた、ずっと秘密にされていた神様の特別の計画が、ついに実行に移されるのです。」

8 すると、再び天からの声が、こう語りかけました。「さあ行って、海と陸地にまたがる強い御使いから、開かれた巻物を受け取りなさい。」

9 そこで私は、その御使いに近寄って、「巻物をいただきたいのです」と頼みました。すると彼は、「よろしい。さあ、この巻物を取って食べなさい。初めは蜜のように甘いのですが、飲み下すと、腹の中で苦くなります」と答えました。10 そこで私は、巻物を受け取って食べました。すると言われたとおり、口の中では甘かったのに、飲み下すと苦くなり、腹が痛くなりました。

11 すると、彼はこう言いました。「あなたは、多くの人々、国民、民族、王について、もっと預言しなければなりません。」

—

預言者殺害

1 そして私は、杖のような物差しを手渡されたのです。それで神様の神殿と祭壇のある内庭を測り、また、そこで礼拝している人の数を調べるように、と命令されました。2 さらに、こう注意されました。「神殿の外庭は測る必要はありません。そこは、外国人に任せられるからです。彼らは四十二か月の間、この聖なる都を踏みにじって荒らします。3 それからわたしは、二人の証人を任命し、特別な力を授けて、荒布を着たまま、千二百六十日間、預言させます。」

4 この二人の預言者とは、全地の神様の前にある、二本のオリーブの木、また二つの燭台のことです。5 もし彼らに害を加えようとする者があれば、彼らの口から吹き出した火で、焼き滅ぼされてしまいます。

6 彼らは、その三年半の預言のあいだ中、大空を閉じて雨を降らせない力を与えられます。また、川や海を血に変えたり、思いのままに何度でも、あらゆる災害を地上に下す力も持

っています。

7しかし、三年半にわたる証言の期間が終わると、底なしの穴から出て来る独裁者の挑戦を受け、殺されることとなります。 89その死体は、三日半、都エルサレムの大通りにさらしものにされます。 [この都は、あのいまわしい「ソドム」や「エジプト」と、並び称される所です。] またここは、主が十字架につけられて殺された所でもあります。 さて、彼らの死体を葬る人など一人も出ず、諸国からエルサレムを訪れた人々が、そのむくろに群がって見物します。 10彼らが殺されたことで、世界中が喜び、その日を記念して、プレゼントの交換や、パーティーが行なわれるでしょう。 なぜなら、この二人の預言者によって、非常に痛めつけられたからです。

11ところが、どうでしょう。 三日半たって、神様からのいのちの霊が、その二つの死体に入ると、彼らは立ち上がるのです。 それを見て、すべての人が恐怖におののきます。

12その時、天から「のぼって来なさい」という大きな声が響くのです。 すると二人の預言者は、敵の目の前で雲に包まれ、天にのぼって行きました。

13ちょうどその時刻に、恐ろしい地震が起こって、都の十分の一の建物がこわれ、死者は、七千人にのぼります。 生き残った人も、恐怖に打ちひしがれて、天の神様をあがめるようになるのです。

14第二の災いが過ぎ去りました。 しかし、第三の災いが待ちかまえています。

15第七の御使いがラッパを吹き鳴らすと、天から大きな声が響きました。 「世界はすべて、主とキリスト様の手に渡った。 主は永遠に支配者である。」

16すると、神様の前の席にいた二十四人の長老が、地にひれ伏して礼拝し、声をそろえて、神様を賛美しました。 17「今も、昔も存在される全能の神、主に、心から感謝します。 あなたが、偉大な力を発揮して、世界を支配する王となられたからです。 18諸国の民はあなたに怒りを燃やしましたが、今度は、あなたの怒りが下される番です。 今や、地を滅ぼす原因となった人々が、滅ぼされる時が来たのです。 死人がさばかれ、あなたに忠実に仕えた者が報いを受ける時です。 預言者も、一般の人々も、すべてあなたの名をほめたたえる者は、小さい者も大きい者も、あなたから報いを受けるのです。」

19その時、天にある神様の神殿が開け放たれ、中に契約の箱が見えました。 いなずまが走り、雷鳴がとどろき、大粒の雹が降って、全世界は大地震で揺れ動きました。

・

一二

女とその子

1また、やがて何かが起こることを暗示する、大きなしるしが天に描き出されました。 一人の女が太陽をまとい、月を踏みつけ、十二の星の冠をかぶっている姿が見えました。 2この女は妊娠していましたが、出産を間近に控え、陣痛の苦しみに、大声でうめいていました。

3すると、突然、巨大な赤い竜が現われました。 七つの頭と十本の角を持ち、七つの冠

をかぶっていました。 4そして、しっぽで、天の星の三分の一を払い落とし、地上にばらまきました。 また、子供を産もうとしている女の前に立ちはだかり、生まれおちた子を、すぐに食べようと、待ちかまえていました。 5女は男の子を産みました。 将来、その子は強大な権力を握り、すべての国の王になると約束されていました。 その子は神様のそばの王座へ引き上げられ、6女は荒野に逃げのびました。 そこには、神様の用意された場所があり、彼女は千二百六十日の間、かくまわれたのです。

7やがて、天で戦争が始まりました。 ミカエルと部下の御使いたちは、竜とその手下の墮落した御使いたち相手に戦いました。 8とうとう竜は敗れ、天から追放されることになりました。 9こうして、この巨大な竜、悪魔とかサタンとか呼ばれ、全世界をだまし続けてきた、古い大蛇は、手下もろとも、地上に投げ落とされてしまったのです。

10そのとき私は、天のすみずみにとどろき渡る、大声を聞きました。 「ついに時が来た。 神様の救いと力と支配と、キリスト様の権威とが、完全に現わされる時が来た。 クリスマスを、昼となく夜となく、神様の前で非難してきた者が、地上に投げ落とされたから。 11クリスマスは、小羊の血と自らの証言によって、打ち勝った。 いのちを惜しまず、小羊のために投げ出したのである。 12天よ、喜べ。 天に住む者よ、喜べ。 しかし、地上の人々には災いがのぞむ。 悪魔が、自分の時の残り少ないことを知って、怒りに燃え、あなたがたのところを下って行ったからだ。」

13竜は、自分が地上に投げ落とされたことに気づくと、男の子を産んだ女を追いかけました。 14しかし女は、大わしのような翼を二つ与えられ、荒野へ飛んで行きました。 そこには、彼女のために場所が用意されており、そこで三年半の間、竜である大蛇を避けて、安全に暮らすことができるのです。

15ところが、大蛇は水を洪水のように吐き出し、女を殺そうと迫りました。 16しかし、大地は口を大きく開けて水を飲み干し、危機一髪で女を助けたのです。 17怒り狂った竜は、今度は女の子孫の生存者、すなわち神様のおきてを守り、自分はイエス様に属する者だと、はっきり告白した者たちに、攻撃のほこ先を向けました。 18そして、海辺の砂の上で、待ちかまえていました。

一三

竜の奇蹟

1私は幻の中で、今度は海の中から、一匹の不思議な獣がはい上がって来るのを見ました。 その獣には七つの頭と十本の角があり、角には十の冠がついています。 そして、それぞれの頭には、神様を汚し、あざける名前が書いてありました。 2その姿はひょうに似ていましたが、足は熊、口はライオンのものでした。 竜はこの獣に、自分の力と地位と大きな権威とを授けました。

3私は、獣の七つの頭のうちのひとつが、回復の見込みがないほど傷ついているのに気がつきました。 ところが、その致命傷が治ったではありませんか。 すると、世界中の人が、この奇蹟に驚き、獣に従うようになったのです。 4そして、その獣を礼拝するばかりか、

そんな不思議な力を授けた竜をも拝み始めました。彼らは大声で、「これほど偉大な方を見たことがない。この方に打ち打ちできる者などいないだろう」と、喝采を送りました。5それから、竜は獣に、主をののしるようにけしかけ、四十二か月間、地上を思うままに支配する権威を与えました。6そこで獣は、そのあいだ中、神様の名と神殿、および天に住むすべての人を、ののしり続けました。7竜はまた、獣に、クリスチャンを向こうに回して打ち勝つ力を与えました。さらに、世界のあらゆる人々を支配する権威も授けました。8殺された小羊のいのちの書に、世の初めから名前が書き込まれていない人々は、こぞって、この悪い獣を礼拝しました。

9聞く耳のある人は、よく聞きなさい。10クリスチャンの中で、投獄される運命にある人は、逮捕され、連行されるでしょう。また、死ぬように定められている人は、殺されます。しかし何があろうと、あわててはいけません。こんな時こそ、あなたがたの忍耐と信仰が、試されるからです。

11さて、私の目に、もう一匹、奇怪な獣が地からのぼって来る姿が映りました。小羊のように二本の小さな角をつけていましたが、その声は、竜のようにすごみを帯びていました。12この獣は、あの致命傷が治った獣の権威をそっくり行使して、全世界の人に、むりやり、その獣を礼拝させました。13また、多くの人の目の前で、燃える火を天から降らせるといった不思議な奇蹟を行ない、あつと言わせたりしました。14こうして、地上のすべての人々をだましたのです。このような不思議なわざができたのは、最初の獣のうしろだてがあったからです。それでこの獣は、全世界の人々に、致命傷を負いながらも生き返った、最初の獣の大きな像を作れ、と命令しました。15出来上がった像に、この獣が息を吹き込むと、像は、しゃべることさえ、できるようになりました。するとその像は、自分を拝まない者は一人残らず殺してしまえ、と命令しました。

16また獣は、大きい者にも小さい者にも、金持ちにも貧乏人にも、奴隷にも自由人にも、片っぱしから右手か額に、いれずみを彫らせました。17つまり、獣の名か、あるいは、その名を意味する数字を彫らせ、そのマークがなければ、仕事につくことも、店で買物をすることも、できないようにしたのです。18これは、細心の注意をはらって解くべきなぞです。この数字の意味を解ける人は、解いてごらんください。獣の名前の文字を数字になおすと、六百六十六になるのです。

一四

新しい歌

1それから私は、エルサレムのシオンの山の頂に立っている、小羊の姿を見ました。また、そのそばに、額に小羊と小羊の父の名とが刻まれている、十四万四千人がいるのを見たのです。2そのとき私は、滝のとどろきか激しい雷鳴のような、天からの音を耳にしました。ハーブに合わせて歌う大合唱でした。

3それは、十四万四千人の大合唱であり、彼らは神様の王座と、四つの生き物および二十四人の長老の前で、今まで聞いたこともない、すばらしい新しい歌をうたいました。地

上から救い出された、この十四万四千人を除いて、だれも、その合唱に加われませんでした。4 彼らは童貞で、汚れを知らず、小羊のあとを、どこまでもついて行くのです。神様と小羊とにささげるきよい供え物として、地上の人々の中から買い取られた者なのです。5 彼らは、非難されるような偽りを口にしません。少しも、とがめられない人々なのです。

6 また私は、もう一人の御使いが天を飛ぶ姿を見ました。それは、地上のあらゆる民族、部族、国語の人々に、永遠の、すばらしい知らせを運ぶところでした。

7 彼は大声で叫びました。「神様を恐れ、その偉大さをほめたたえなさい。神様が裁判官として、審判の座に着かれる時が来たのだ。天と、地と、海と、その源を造られた方を礼拝しなさい。」

8 次に、もう一人の御使いが天を飛んで来て、こう言いました。「大いなる都、バビロンが倒れた。世界中の人々を惑わして、不純な行為と罪とのぶどう酒を飲ませた報いだ。」

9 続いて第三の御使いが飛んで来て、大声で叫びました。「海から上がって来た獣と、その像を拝み、額か手にいれずみを彫った者よ。10 あなたがたは一人残らず、神様の怒りの杯にあふれるぶどう酒を、飲まなければならない。それも、水で割らないものを。そして、聖なる御使いと小羊との前で、火と、燃える硫黄とで苦しめられるのだ。11 その苦しみの煙は、昼も夜も、ひと息入れるひまもなく永遠に立ちのぼる。獣とその像とを拝み、獣の名のいれずみをしたからだ。12 このことによって励まされ、神様の民が、襲いかかるどんな試みや迫害にも、耐えるように。彼らは、最後までしっかりと神様の戒めを守り、イエス様に信頼するクリスチャンだから。」

13 また私は、頭上で、次のように語る天からの声を聞きました。「さあ、書きとめなさい。主のために殉教した人々が、その報酬を受ける時が、ついに来たのです。聖霊様は言われます。『そのとおり。彼らには十分な祝福が注がれる。今こそ、いっさいの労苦と試みから解放されて休む時なのだ。その良い行ないが、彼らといっしょに天まで立ちのぼるから。』」14 その時、急にあたりの様子が変わって、白い雲がわき上がり、その雲に乗ったお方が見えました。イエス様のような方でした。その方は「人の子」と呼ばれ、純金の冠をかぶり、よく切れるかまを手にしていました。

さばきの時は来た！

15 そこへ、もう一人の御使いが神殿から現われ、その方に叫びました。「どうぞ、かまで刈り取りをお始めください。地上の穀物は実って、刈り入れを待っています。」

16 そこで、雲に乗っておられる方が、かまを入れ始めると、刈り取られたものは一個所に集められました。17 そのあと、もう一人の御使いが天の神殿から出て来ました。彼もまた、鋭いかまを持っていました。

18 同時に、火で世界を滅ぼす権威を授かっている御使いが現われて、かまを持った御使いに、大声で叫びました。「さあ、そのかまで、地上のぶどう畑から実を刈り集めなさい。もう十分に熟して、さばかれる時を待っている。」19 そこで御使いは、言われた

とおりにかまを入れ、ぶどうを刈り集めて、神様の怒りの大きな酒ぶねに投げ込みました。20酒ぶねの中のぶどうは、都の郊外で踏まれました。すると、酒ぶねからあふれ出た血は、三百二十キロもの流れになり、その深さは、馬のくつわに届くほどでした。

一五

モーセと小羊の歌

1 また私は、天に、これからの出来事を暗示する、もう一つの巨大なしるしを見ました。最後の七つの災害を地上に下す任務が、七人の御使いに与えられたのです。こうして、ついに神様の怒りが頂点に達しました。

2 目の前に、火とガラスの海のようなものが広がっていました。そのほとりには、あの悪い獣とその像、またその数字のいれずみとに打ち勝った、すべての人が立っていました。彼らはみな神様のハーブを手にして、34神様に仕えたモーセの歌と小羊の歌とをうたっていました。

「全能の神、主よ。
目を見張るべきものは、
あなたの偉大なみわざです。
世々生きておられる永遠の王よ。
ただ、あなたの道だけが
正しく真実なのです。
ああ、主よ。
あなたを恐れず、
その名をほめたたえない者は、一人もおりません。
ただ、あなただけがきよいお方です。
すべての国々の民は来て、
あなたを礼拝します。
あなたの正しさが、
明らかにされたからです。」

5 それから、さらに見ていると、天にある神殿の聖所が大きく開かれました。

6 七つの災害を地上に下すよう任命された七人の御使いが、その聖所から姿を現わしました。彼らは、しみも傷もない、真っ白な亜麻布の衣服をまとい、胸には金の帯を締めていました。7 それから、四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神様の、激しい怒りで満ちた金の鉢を、七人の御使いに、一つずつ手渡しました。8 聖所には、神様の栄光と力とから立ちのぼる煙が一面に漂い、七人の御使いが七つの災害を下し終えるまで、だれも、そこに入ることが許されませんでした。

一六

七人の御使い

1 また私は、神殿から大きな声が、七人の御使いに呼びかけるのを聞きました。「さあ、

出かけて行って、神様の怒りで満ちた七つの鉢を、地上にぶちまけなさい。」

2そこで、第一の御使いが神殿から出て行き、鉢を地上にぶちまけました。すると、獣のいれずみをして、その像を拜む者全員に、恐ろしい悪性のはれものことができました。

3第二の御使いが鉢を海にぶちまけると、海は死人の血のようになり、海中のすべての生物が死に絶えました。

4第三の御使いは、鉢を川と泉にぶちまけました。すると、水はたちまち血に変わりました。5私は、水を支配している御使いのことばを聞きました。「今も昔も存在される聖なる方。あなたの、このようなさばきは、ほんとうに正しいものです。6あなたのきよい民や預言者は、殉教を遂げ、この地上に血を流しました。今度はあなたが、彼らを殺した者たちの血をしたたらせる番です。これは、当然の報いなのです。」

7また私は、祭壇の御使いの、こんな声を聞きました。「全能の神、主よ。あなたのさばきは正しく、真実です。」

8次に、第四の御使いが、鉢を太陽にぶちまけました。すると、太陽は、すべての人を火で焼く力を得ました。9人々は、その激しい炎熱に焼かれながらも、なおその心や態度を改めて、神様の栄光を恐れようとはせず、かえって、災害を与えた神様の名をのろいました。

10それから、第五の御使いは、海からは上がった獣の王座に鉢をぶちまけました。すると、獣の国は暗やみでおおわれ、その民は苦しみのあまり、舌をかみ切って自殺をはかりました。11そして、苦痛とはれものとのために、天の神様をのろいましたが、自分の悪い行ないを悔い改める気は、さらさらありませんでした。

12第六の御使いは、鉢を大ユーフラテス川にぶちまけました。すると、川の水がすっかり干上がり、東方の王がいつでも軍隊を率いて、西方に攻め入る道ができました。13また私は、竜と獣と偽預言者の口から、かえるに似た三つの悪霊が飛び出すのを見ました。14この奇蹟を行なう力を持った悪霊たちは、全世界の支配者に相談をもちかけました。迫っている全能の神様の恐ろしい審判の日に備えて、一丸となって主と戦おう、とけしかけるためです。

15「用心していなさい。わたしはどろぼうのように、思いがけない時に来ます。目を覚まして待っている人は幸いです。そのような人は、着物をきちんと着ているので、裸で外を歩くような恥はかきません。」

16こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドン〔メギドの山〕と呼ばれる場所の近くに、世界の全軍隊を結集させました。

17次に、第七の御使いが、鉢を空中にぶちまけました。すると、「すべてが終わった」という大きな声が、天の神殿の王座から響き渡りました。18すると、雷鳴がとどろき、いわずが走り、史上最大の大地震が発生しました。19大いなる都「バビロン」は三つに裂け、世界各地の都市もすべて破壊されて、瓦礫の山と化しました。「バビロン」の罪を、神様は一つ残らずご存じであり、そのために、「バビロン」は神様の激しい怒りの

ぶどう酒のあふれる杯を、最後の一滴まで飲み干す罰を受けたのです。 20 島々は消え去り、山々は平地に変わりました。 21 また、なんと三十五キロもの重さの雹が降って、多くの被害が出、人々は、この恐ろしい雹のことで神様をのろいました。

一七

悪名高い女

1 災害をぶちまけた七人の御使いの一人が、私に近づき、こう話しかけました。 「ついて来なさい。 地の大水の上に座っている悪名高い大淫婦がどんな目に会うか、見せましょう。 2 世の王たちは、この女とみだらな関係を結び、世界中の人々が、この女の不正のぶどう酒に酔いしれました。」

3 そして御使いは、私を幻の中で荒野へ連れて行きました。 そこには、赤い獣にまたがる一人の女の姿がありました。 その獣には七つの頭と十本の角があり、体中に、神様を冒瀆することばが書き込まれていました。 4 女は紫と赤の服をまとい、金や宝石や真珠の、きらびやかな飾りを身につけていました。 また、みだらな行為であふれた、金の杯を抱えていました。

5 そして、額には「世界中のみだらな女と偶像礼拝者の母、大いなるバビロン」という、なぞめいたことばが刻まれていたのです。

6 彼女は血に酔っているようでした。 しかもその血は、彼女が殺したクリスチャンの血だったので、私は背筋が凍りつく思いでした。

7 すると御使いが、こう語りかけました。 「なぜ、そんなに驚いているのですか。 この女と獣の正体を教えましょう。 8 この獣は、昔は生きていましたが、今はいません。 しかし、やがて底なしの穴から現われて、永遠の滅びに突っ走るでしょう。 地上に住む人々のうち、世の初めから、いのちの書に名前が書かれていない人は、その絶滅したと思われていた獣が、もう一度姿を現わすのを見て、血の気を失うほど驚くでしょう。

9 さあ、よく考えなさい。 この獣の七つの頭とは、女の住む七つの丘に建てられた都のことです。 10 それはまた七人の王を意味します。 そのうち五人の王は、すでに倒れました。 第六の王は現在、王位についており、第七の王は、まもなく姿を現わすでしょう。 しかし、その王座も長くはありません。 11 赤い獣そのものは、第八の王であり、彼が一度死んだということは、七人の中の一人として、以前、王座に君臨していたことを意味します。 彼は二度目に王となってから、最後の滅びに向かうのです。 12 十本の角は、これから王位につこうとしている、十人の王を表わします。 彼らは、赤い獣と共に支配するため、一時的に王座につくのです。 13 彼らは同盟を結んで、自分たちの力と権威とを、その獣に与えます。 14 そして、一致団結して小羊と戦いますが、結局、小羊の勝利に終わります。 なぜなら、小羊は主の主、王の王であり、その配下も、特別にえり抜きの、忠実な者だからです。

15 あの女の座っている海や湖や川は、あらゆる人種や国民からなる、おびただしい人々を表わしています。

16 やがて、赤い獣と十本の角は、その女を憎み、襲いかかって裸にし、あげくの果ては、火で焼き殺すこととなります。17 というのも、それらは神様の計画にあることで、神様は、彼らの思いを支配し、目的を達成なさるのです。彼らは赤い獣に権威を与えることで一致します。これも神様のお考えどおりです。18 あなたが幻で見たあの女は、地上の王を支配する大いなる都のことです。」

一八

大いなる都の最後

1 これらのことの後、私はもう一人の御使いが、大きな権威を授けられて、天から下って来るのを見ました。地上は、その輝きで明るくなりました。

2 彼は大声で叫びました。「バビロンが倒れた。あの大いなるバビロンが倒れた。そこは悪魔の巣窟、悪霊や、あらゆる汚れた霊のたまり場となった。3 あらゆる国の人々が、彼女のみだらな毒ぶどう酒に酔いしれたからだ。また、地上の支配者は彼女と快樂にふけり、全世界の商人は、彼女のぜいたくな浪費のおかげで、大もうけをしたからだ。」

4 それから私は、天から別の声を聞きました。「クリスチャンよ。あの女から遠ざかりなさい。その罪に関係してはなりません。そうでないと、いっしょに罰を受けることとなります。5 あの女の罪は数えきれず、積み上げられて天にまで達したので、神様の罰がいよいよ下るのです。

6 彼女から受けた仕打ちをそっくりそのまま、いや、それ以上の仕返しをしなさい。悪事に対しては、二倍の罰を与えなさい。彼女は人々に、多くの災いの飲み物を飲ませようとたくらみました。それを倍にして飲ませなさい。7 ぜいたく三昧に遊び暮らした彼女に、それに見合うだけの苦しみと悲しみとを与えなさい。彼女はうぬぼれています。『私は女王で、身寄りのない未亡人とは違う。悲しみなど知らない。』

8 おかげで、たった一日のうちに、死の悲しみと嘆きと飢えとに襲われ、彼女は焼き滅ぼされてしまうのです。さばきをなさる主は、力ある偉大なお方だからです。」

9 彼女の不純な行為に手を貸し、多くの分け前をもらって、ぜいたくの限りを尽くした地上の支配者は、その焼けこげの死体から立ちのぼる煙を見て、涙にくれるでしょう。

10 そして、恐怖に震えながら、遠巻きにして立ち、「ああ、悲しいことだ。力ある都バビロンよ。あなたへのさばきは、あっという間に下った」と叫ぶでしょう。

11 また、地上の商人も泣き悲しむでしょう。もはや、お得意先がなくなったからです。

12 彼女ほどの客は、またとなかったのです。納めた商品は、金、銀、宝石、真珠、上等の麻布、紫色の絹、紅色の絹、いろいろな香木、象牙細工、高価な木彫り、青銅、鉄、大理石、13 肉桂、香水、香料、香油、乳香、ぶどう酒、オリーブ油、上質の小麦粉、小麦、牛、羊、馬、戦車、奴隷に及び、さらには人の命までも商ったのです。

14 彼らは叫びます。「あなたの秘蔵のものは、全部その手から奪い去られました。あれほどご自慢だった、豪華で、粋をこらしたぜいたくは、もう二度とできません。すべては永久に失われたのですから。」

15 これらの品を納めて、ぼろもうけをしていた商人は、わが身への危険を恐れて、遠く

離れて立ち、泣き悲しむでしょう。 1617「ああ、悲しいことだ。 あんなに美しかった大なる都が、あっという間に荒れ果ててしまった。 最高級の紫色の布と紅色の麻布をまとい、金や宝石や真珠で飾りたてていた都よ。 そのすべての富も、一瞬のうちに消えてしまった。」

また、各国の船主や商船の船長、乗組員も遠くから、 18彼女が焼かれる煙を見て、涙ながらに、「これほどすばらしい都が、この世にあっただろうか」と嘆くでしょう。 19そして、頭にちりをかぶって、悲しむのです。「ああ、ああ、大なる都よ。 その有り余る富のおかげで、われわれは大金持ちになれたのに。 それが何もかも、一瞬のうちに失われてしまった。」

20しかし、天よ、神の子供よ、預言者よ、使徒よ。 彼女の最後を喜びなさい。 ついに神様は、あなたがたのために、彼女へのさばきを下されたのです。

21その時、一人の強い御使いが、ひき臼のような丸い石を持ち上げ、海に放り投げて叫びました。「大なる都バビロンは、この石のように投げ捨てられ、もはや、永久に浮かび上がりません。 22もう楽しげな音楽はとだえ、ピアノ、サキソホン、トランペットの音も聞こえません。 種々の産業はすたれ、ひき臼をひく人影も、二度と見ることはありません。 23夜は真っ暗やみで、窓からは明かりももれず、結婚式の喜びの鐘も、花婿と花嫁の楽しそうな声も聞こえません。その名を世界に鳴りとどろかせた商人たちも、鳴りをひそめます。彼らはすべての国の人々をたぶらかす、彼女の魔術のおかげで、もうけていたのです。 24彼女は、殉教したすべての預言者や神のきよい民の、血の責任を問われるのです。」

一九

天の大群衆

1この後、私は、天からおびたしい群衆の叫び声を聞きました。「ハレルヤ、主を賛美せよ。 救いは神様からの贈り物、誉れと権威は神様だけのものです。 2その審判は正しく、真実だからです。神様は、姦淫によって地上に悪をはびこらせた、あの淫婦を処罰し、神様に仕える者たちが殺されたことに復讐されたのです。」

3彼らは、くり返しくり返し主を賛美しました。「主をほめたたえよ。 彼女の焼かれる煙は、永遠に立ちのぼる。」

4すると、二十四人の長老と四つの生き物はひれ伏し、王座におられる神様を礼拝して、「アーメン、ハレルヤ。 主を賛美せよ」と言いました。

5また、王座から声がしました。「神様を恐れ、神様に仕えているすべての者よ。 小さい者も大きい者も、神様をほめたたえよ。」

6そのとき私は、ちょうど大群衆の叫び声か、海岸に打ち寄せる大波、あるいは、激しい雷鳴のとどろきのような声を聞きました。「主を賛美せよ。 主である全能の神様が支配なさる時が来たのです。 7さあ、大いに喜び楽しみ、神様をほめたたえましょう。 小羊の結婚の時が来て、花嫁のしたくも整いました。 8花嫁衣装は、輝くばかりの、きよく

真っ白な最上の麻布で作られています。」 この麻布は、クリスチャンの正しい行ないを表わしているのです。

9 御使いは、次のことばを書きとめるよう、促しました。 「小羊の結婚披露宴に招かれた人は幸いです。」 御使いはまた、こう付け加えました。 「これは神様の口から出たことばです。」

10 そのとき私は、御使いの足もとにひれ伏して、礼拝しようと思いました。すると御使いは、「何をしますのです。 そんなことはやめなさい。 私も、神様に仕える者にすぎません。 あなたや、イエス様への信仰を証言しているクリスチャンたちと同等なのです。 すべての預言も、いま私が告げたすべてのことばも、その目的は、ただイエス様を証言することです。」

王の王

11 それから天が開かれ、私は、そこに白い馬を見ました。 その馬に乗っているのは「忠実、また真実」と呼ばれ、正しいさばきをし、戦いをなさる方です。 12 目は炎のように輝き、頭にはたくさんの冠をかぶっていました。 額には名前が記されていましたが、その意味を知っているのは本人だけでした。 13 この方は血に浸した衣を着て、「神様のことば」という肩書きをつけておられました。 14 天の軍隊は、きよく真っ白な最上の麻布を身につけ、白馬にまたがって、彼に従いました。

15 この方は、諸国民を切り倒す、鋭い剣をくわえておられました。そして、鉄のような手で、国々を完全に支配なさるのです。 また、全能の神様の激しい怒りに満たされた酒ぶねを踏まれるのです。 16 衣と、ももには、「王の王、主の主」という肩書きが記されていました。

17 そのとき私は、光の中に立つ一人の御使いが、大声ですべての鳥に呼びかけるのを見ました。 「さあ、集まりなさい。 偉大な神様の宴会の始まりです。 18 さあ、王、司令官、偉大な将軍、馬と乗り手、それから大きい者と小さい者、奴隷と自由人のすべての肉を食べなさい。」

19 それから私は、悪い獣が地の支配者と軍隊とを召集し、馬に乗っておられる方とその軍隊とに、戦いをいどんでいるのを見ました。 20 しかし、悪い獣は捕らえられ、続いて偽預言者も縛り上げられました。 この偽預言者は、悪い獣と手を組んで、人々を奇蹟であつと言わせ、いれずみをした悪い獣の礼拝者たちを、だましていたのです。 結局、悪い獣も偽預言者も、硫黄の燃えさかる火の池に、生きたまま投げ込まれました。 21 彼らに従った軍隊もまた、白い馬にまたがる方の鋭い剣で殺されました。すると、天の鳥が、むさぼるように、その肉をついばんでしまいました。

二〇

悪魔、底なしの穴へ

1 そのとき私は、底なしの穴のかぎと太い鎖とを手にした御使いが、天から下って来るのを見ました。 2 彼は、悪魔とかサタンとか呼ばれている、あの古い蛇である竜をつかま

え、鎖で縛って、千年の間、 3底なしの穴に閉じ込めてしまいました。 こうして竜は、定められた千年が過ぎるまでは、世界の国々をだますことが、できなくなりました。 しかし、その期間が終われば、しばらくの間だけ自由な活動が許されるのです。

4それから私は、数多くの王座を見ました。 そこには、さばく権威を神様から授けられた人々が、座っていました。 私はまた、イエス様について証言し、神様のことばを伝えただために首をはねられた人々のたましいと、獣をもその像をも拝まず、額や手にいれずみをしなかった人々のたましいとを見ました。 その人々はみな生き返って、キリスト様と共に千年間、世界を支配しました。

5これが第一の復活です。〔残りの死者は、千年が過ぎるまで、 死んだままでした。〕 6第一の復活を経験する人は幸いな人であり、 きよい人です。 彼らには、第二の死など、恐ろしくありません。 神様とキリスト様の祭司になった彼らは、キリスト様と共に、千年間、支配するからです。

7千年の後、悪魔は閉じ込められていた場所から出されます。 8悪魔は、地上の国々をだまそうと行き巡り、戦いのために、人々をゴグとマゴグともども駆り立てます。 それは、海辺の砂のように数えきれない大軍です。 9彼らは、地上の広々とした大平原に攻め上り、クリスチャンと都エルサレムとを取り囲みます。 ところが、天の神様のもとから、敵軍めがけて火が下り、彼らを焼き滅ぼしてしまいます。

10その後、人々をだましていた悪魔は、獣や偽預言者と同じく、硫黄の燃える火の池へ投げ込まれます。 そこで、昼も夜も、永遠に苦しむのです。

11また私は、大きな白い王座と、そこに座しておられるお方とを見ました。 地も空も、そのお方の顔を避けて逃げ出し、影も形もなくなってしまいました。 12私はすべての死者が、大きい者も小さい者も、神様の前に立つのを見ました。 いのちの書をはじめ、さまざまな書物が開かれました。 死者は、これらの書物の規定に従い、それぞれの行ないに応じて、さばかれました。 13海も地も地下の世界も、その中の死者を吐き出しました。 そして各自が、その行ないに応じて、さばかれました。 14死も地獄も、火の池に投げ込まれました。 この火の池が、第二の死です。 15いのちの書に名前が記されていない者はみな、火の池に投げ込まれたのです。

二一

新しい世界

1それから私は、新しい地と新しい空とを見ました〔そこには海はありません〕。 今までの地も空も、消え去ってしまいました。 2また、私ヨハネは、神様のもとを出て天から下って来る、聖なる都、新しいエルサレムに目を奪われました。 その眺めのすばらしさは、まるで、結婚式に美しく着飾った花嫁のようでした。

3私は、王座から大声で叫ぶ声を聞きました。 「ごらんなさい。 神様の住まいが人々の間にあります。 神様は人々と共に住み、人々は神様の国民となります。 神様自ら人々の中に住み、 4その目から涙をぬぐってくださいなのです。 もはや、死も悲しみも叫び

も苦痛もありません。それらはみな、永遠に姿を消したからです。」

5 王座におられる方が宣言されました。「ごらん下さい。わたしはすべてを新しくします。」そして、続いてこう言われました。「これらのことを書きとめなさい。わたしが伝えることは、真実で、信頼できるからです。6 いっさいのわざが成し遂げられました。わたしは初めであり、終わりです。のどの渇いている者には、いのちの水の泉をあげましょう。7 勝利を得る人はだれでも、すべての祝福を相続できるのです。わたしはその人の神となり、その人はわたしの息子となります。8 しかし、わたしに従うのをやめるような臆病者、不忠実な者、墮落した者、人殺し、不道德な者、魔術を行なう者、偶像礼拝者、うそをつく者——こんな連中の行き着く先は、火と硫黄が燃えさかる池です。これが第二の死なのです。」

9 その時、最後の七つの災害の鉢をぶちまけた、七人の御使いの一人が来て、私に言いました。「ついて来なさい。小羊の妻となる花嫁を紹介しましょう。」

栄光の都

10 幻の中で、御使いは私を、高い山の頂上に連れて行きました。そこで私は、すばらしい都、きよいエルサレムが、神様のもとを出て、天から下って来るのを見ました。11 都は神様の栄光に包まれ、宝石のように光り輝き、碧玉のように透き通っていました。12 都には、分厚い城壁が高くそびえ、十二人の御使いの守る十二の門があり、それぞれに、イスラエルの十二部族の名が記されていました。13 また、門は東西南北の方角に、三つずつ設けられていました。14 城壁には十二の土台石があつて、それぞれに、小羊の十二使徒の名が書き込まれていました。

15 御使いは、都と門と城壁とを測るために、金の物差しを手にしていました。16 実際に測ってみると、都は縦横長さの等しい正方形であることがわかりました。おまけに高さも同じで、立方体をなしているのです。それぞれの長さは二千四百キロでした。17 次に城壁の厚さを測ってみると、六十六メートルありました。〔御使いは、これらの数字を読み上げました。〕

18 19 都そのものは、ガラスのように透き通る純金でできていました。城壁は碧玉で、さまざまな宝石がちりばめてある、十二の土台石の上に築かれていました。

第一の土台石は碧玉、

第二はサファイヤ、

第三は玉髄、

第四はエメラルド、

第五は赤縞めのう、

20 第六は赤めのう、

第七は貴かんらん石、

第八は緑柱石、

第九はトパーズ、

第十は緑玉髓、

第十一はヒヤシンス石、

第十二は紫水晶です。

21 十二の門は、それぞれ、一つの大きな真珠でできていました。大通りは、ガラスのように透き通る純金でした。

22 それにしても、都には、どこにも神殿が見あたらないのです。というのも、全能の神である主と小羊とを、都のどこでも、自由に礼拝できるからです。23 都には、太陽も月もいません。神様と小羊との栄光が、明るく照らしていたからです。24 その光は全世界に及ぶのです。世界中の支配者たちが、それぞれの栄光を携えてやって来ます。25 都の門は決して閉じられず、一日中、開かれたままです。ここには夜がないからです。26 あらゆる国の栄光と誉れが、都に運ばれて来ます。27 汚れた者は、入れてもらえません。不道德な者、不正直な者は、一人たりとも入れません。小羊のいのちの書に名前が記されている人々だけが、ここに入れるのです。

二二

いのちの水の川

1 それから御使いは、いのちの水の川を、見せてくれました。それは水晶のように透き通り、神様と小羊との王座から流れ出て、2 都の大通りの中央を貫いていました。川の兩岸には、十二種の実をつける、いのちの木が生えていました。その木には、それぞれひと月ごとに実がなりました。その葉は、世界中の病気に効く薬草として使われました。

3 都の中に、のろわれたものは何一つありません。神様と小羊との王座があつて、神様に仕える者たちが礼拝しているからです。4 彼らは、神様と顔を合わせることができません。その額には、神様の名が書き込まれていますから。5 また、都には夜がありません。ですから、明かりも太陽もいません。神である主が、光そのものだからです。人々は永遠に支配し続けるのです。

6 7 御使いは、私にこう告げました。「『わたしはすぐに来る』という約束は真実で、信じるに足ることばです。預言者に、将来の出来事を予告された神様は、それがいよいよ実現するのを知らせようと、御使いをあなたに遣わされたのです。このことを信じ、この書物に記されているすべてを信じる人は幸いです。」

8 以上の一連の出来事を見聞きした私ヨハネは、それらを示してくれた御使いの前にひれ伏して、礼拝しようと思いました。9 ところが彼は、前回同様、それを拒んだのです。「そんなことをしてはいけません。私は、イエス様に仕える者にすぎません。あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書物の真理に心をとめるすべての人々と同じなのです。ただ神様だけを礼拝しなさい。」

10 それから御使いは、私に指示しました。「あなたが書きとめたことを隠しておいてはいけません。いよいよ、それらが現実となるからです。11 その時が来ると、不正

な者はますます不正を重ね、汚れた者はますます汚れるでしょう。 反対に、正しい者はますます正しい行ないに励み、きよい者はますますきよくなるのです。」

わたしはすぐに来る！

12 「ごらんなさい。 わたしはすぐに戻って来ます。 同時に、各自の行ないにふさわしい報いをもたらします。 13 わたしは初めであり、終わりです。 最初であり、最後です。 14 都の門から入る資格と、いのちの木の実を食べる権利とを受けたいと、自分の衣服を洗っている人は幸いです。

15 都の外には、神様から離れた者、魔術師、不道德な者、人殺し、偶像礼拝者、好んでうそをつく者、偽りを行なう者がうごめいています。 16 わたし、イエスは、これらすべてを諸教会に知らせるため、あなたがたに使者を送りました。 わたしはダビデの根であり、その子孫です。 また、ひとときわ輝く明けの明星です。 17 聖霊様と花嫁は、『来てください』と言っています。 これを聞く人々は、同じように『来てください』と言いなさい。 のどが渇いている人〔求めている人〕は、だれでも来なさい。 そして、いのちの水を、ただで飲みなさい。

18 わたしは、この書物を読むすべての人に、厳かに宣言します。ここに書かれていることに、一語でも書き加える人がいれば、神様はその人に、この書物にあるとおりの災いを下されます。 19 また反対に、この預言の書物から一語でも取り除く人がいれば、神様はその人から、いのちの木の実を食べる権利ばかりか、きよい都に入る権利をも取り上げるでしょう。

20 これらを知らせてくださった方が、はっきり宣言します。 『そうです。 わたしはすぐに戻って来ます。』

アーメン、主イエスよ。 来てください。

21 主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にありますように。 アーメン。

▪